

編集

三好市役所総務部秘書広報課

〒778-8501

徳島県三好市池田町シンマチ

1500番地2

☎0883-72-7646

koho@city.tokushima-miyoshi.lg.jp

http://www.city-miyoshi.jp/



QRコードからアクセス

□ 編集後記

4月の人事異動で、秘書広報課に配属されました。市の行政情報はもちろん、市内の行事や各種団体の活動、地域の生活情報等直近の前後2ヶ月間ではありますが、市民の皆様により市内の状況や行政の取組が分かるよう、また、平易で理解しやすい表現に努め、これからも読みやすく親しまれる市報となるよう紙面の編集・校正を心がけて参りますので、よろしく願います。(森)

船井哲良さんの実業家人生を描いた桐山秀樹さんの「船井哲良の終わらない挑戦」。実家にあった本をちよいと拝借して読み始めたのですが、気付かされるものがたくさんありました。5月26日に開催される名誉市民称号贈呈式典。記念講演が今から楽しみです。(近)

取材先で出会った満開の桜。取材途中、桜の花を撮影してみましたが、これがなかなか難しく、見たままのようには写りません。広報は静止物よりも動きのある人物撮影が多いのですが、一緒に写る花や景色の魅力も伝わるような写真が撮れればと思います。(長)

三好市探訪



74
歩目



古宮神社

— 三好市西祖谷山村南山 —

三好市西祖谷山村吾橋集落には、今から690余年前の南北朝の時代、土佐に流された後醍醐天皇の第一皇子尊良親王の妃、加羅宇多姫（からうたひめ）の伝説が残されています。

親王を慕い、身重の体で土佐を目指した加羅宇多姫は、西祖谷山村に入られましたが、長旅の疲れにより早産され、介抱の甲斐なく男子は亡くなりました。加羅宇多姫も産後の養生ままならず、親王に会えぬまま土佐からの帰途、古宮嶽で亡くなられたと語り伝えられています。

その後、里人は姫のお墓のそばに社を建て、御霊（みたま）を祭神として祀ったのが現在の古宮神社とされています。

この由来から、古宮神社は子授け、安産の神として尊崇され、市内外から多くの参拝者が訪れています。

昭和63年8月2日に「古宮神社」として西祖谷山村が文化財指定し、三好市の指定文化財となっています。